

# 平成30年度 事業報告

## 法人全般

### 法人としての取組

#### ■将来計画・構想

##### 1. 本部ビジョンの策定

加計学園の建学の理念と使命(ミッションステートメント)が明確にされ、それを学園の基本として、各設置校はビジョンとアクションプランを基に事業計画を確実に履行する上で、本部のビジョンを策定しましたが、その機能をより明確にし、各設置校を支援並びにマネジメントをするために、学園としてのビジョンの策定に取り組みます。

##### 2. 三大学学長会議

学園が設置する岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学の学長並びに事務局長等と本部が加わり、毎月1回定期的に三大学学長会議を実施し教学や管理運営に重要な「各大学のガバナンス」、「教職員の採用方針」、「退学者減少への取り組みと留学生の受け入れ」など幅広く検討し共有を図りました。私学の現状はますます厳しい状況となることから、さらに理事との連携を強化し、各大学の共通課題を双方で継続し検討します。

#### ■会計・監査体制

##### 1. リスク・アプローチ監査

平成30年度よりリスク・アプローチ監査を3年単位で一巡させ、効果的な監査に必要な情報を蓄積し、財務諸表に与える影響に関し、重要度の高い監査要点について、重点的に監査を実施し、次年度以降にフォローアップする体制の構築に取り組みました。

##### 2. 教学面の監査

監査室と教員で構成したチームによるテーマ監査の実施に向け、体制構築に取り組みました(監査室が通常行う業務監査とは別に、特に教育的な視点が必要なテーマを扱う)。

#### ■教職員の人材育成

##### 1. 職員研修

昨年より実施している階層別研修(初任者研修、役職者研修等)を進め、建学の理念のもと、平成29年に制定された加計学園の使命(ミッションステートメント)に基づき、自主的に本学園を取り巻く環境の変化や高度化・複雑化する課題に対応していくことのできる職員組織を構築する事を目的として「平成30年度加計学園人材育成プログラム」を策定し実施致しました。

NO.	開催日	テーマ/タイトル	研修内容
1	4月1日	加計学園の職員として	新採用研修
2	4月1日	組織を高めるコミュニケーション(岡山会場)	新採用研修
3	6月13日	個人情報保護と情報セキュリティ	第4回学園職員研修
4	7月4日	KAKE国際祭り	異文化理解
5	8月2日	組織を高めるコミュニケーション(今治会場)	新採用研修
6	8月25日	思学塾	新採用研修
7	9月30日	スリランカ決勝大会	異文化理解
8	10月10日	学園フィロソフィー	御影職員
9	11月16日	日本語弁論決勝大会	異文化理解
10	12月22日	スタッフポートフォリオ	人材育成
11	12月22日	メンター養成実践	人材育成
12	12月28日	成果発表	新採用研修
13	1月12日	労務管理	人材育成
14	2月2日	コミュニケーション入門	人材育成
15	2月2日	コーチング実践	人材育成
16	2月9日	学校会計と財務分析	人材育成
17	2月16日	リーダーシップ実践	人材育成
18	3月9日	中等・高等教育経営Ⅱ	人材育成

## 2. 進化する自己点検・勤務考課

平成29年度に整備した「学校法人加計学園事務職員自己点検・勤務考課規程」に則り、育成者によるフィードバックを徹底し、職員の能力向上や業務改善に繋がるよう取り組みました。

### ■労務管理

#### 1. メンタルヘルス対策

ストレスチェックによる教職員のストレス状況について検査を実施しました。加計学園全体で890人が受検し、受検率は78.9%でした。

また、ストレスチェックの結果を集団分析し、安全衛生委員会等で報告し、職場環境の把握調整に努めました。さらに、産業医面談の報告書より個人の職場環境の改善に努めました。学園のメンタルヘルス対策としてカウンセリング体制をすべての設置校で整えています。

#### 2. 健康増進対策

健康運動指導士による健康増進講座を年間39回開催し、延べ244人が参加しました。教職員の体力向上とストレス発散に繋がると参加者からも好評を得ました。

#### 3. 女性活躍推進法行動計画の推進

2016年4月1日施行の女性活躍推進法に基づき策定した行動計画に沿って、女性が職業生活において活躍出来る環境の整備に取り組んでいます。行動計画策定期間(H28. 4. 1～H33. 3. 31)の中間となることから、三大学学長会議及び部課長会議において、現状報告を行うとともに、計画達成に向けた検討を行いました。

#### 4. 次世代育成行動計画の推進

次世代育成支援対策法に基づき策定した行動計画に沿って教職員が仕事と子育ての両立を図ることができる環境や多様な働き方の整備に取り組みました。

(1) 所定外労働の削減について、業務のマニュアル化等見直しを行い、効率化を促しています。

(2) 平成31年4月施行の「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」のうち有給休暇5日の取得義務化の遵守に向けて周知を図るとともに有給休暇管理の見直しを行いました。

(3) 有期労働者の年次有給休暇制度の周知を行いました。

### ■施設・環境整備事業

#### 1. 施設整備計画

既存施設の経年劣化や法令遵守、教学面の要望等を把握し、修繕、将来的な建替え、共同利用促進等の基本計画策定に取り組み、本部棟、津島東二丁目職員住宅、加計美術館の耐震診断を実施しました。診断の結果、各建物に一部改修工事が必要なことが判りました。次年度以降、計画を立てて改修工事を実施する予定です。また、アスベスト除去工事を加計美術館で実施しました。

#### 2. 省エネルギーの推進

省エネルギー推進委員会の定期開催の実施及び省エネルギーに対する教職員の意識向上に努め、原単位(エネルギー使用量÷延床面積)年間1%以上の削減を目標としていましたが、平成30年度の原単位は昨年度比1.5%増加し、削減目標を達成出来ませんでした。令和元年度は原単位年間1%以上の削減を目指し、省エネに努めます。また、2月に開催した加計学園省エネルギー推進委員会で省エネシール、ポスター、パンフレットの作成を提案し、了承されたため、次年度は省エネシール、ポスター、パンフレットを作成し、各設置校に配布することで教職員、学生、生徒の省エネ意識を高める取り組みを行う予定です。

### ■防災管理

#### 1. 防災計画の見直し

組織改編等に伴い、自衛消防組織編成を新規作成するとともに、既存の組織編成を見直し、災害時の役割分担の明確化に取り組みました。

## 2. 災害対策

災害発生時に、自衛消防組織編成に定めた各自の役割が機能するよう、年1回以上の避難訓練等防火・防災訓練を実施しています。特に本部・岡山理科大学においては、B地区を対象に学生とともに初期消火、負傷者搬送、AEDを使った応急救護等一連の防災訓練を実施しました。また、救急救命講習等を継続実施しました。

さらに、今回初めて岡山理科大学において、各学科の学生代表者を対象としてAED取扱訓練を実施しました。

## 3. 安全安心対策

平成30年度防災対策委員会を6月6日に開催し、本部、各設置校等の委員を承認するとともに4小委員会（火災・地震・暴風雨等、危険物等、交通、防犯）から平成29年度の活動実績及び平成30年度の活動予定等の報告がなされました。

また、設置校内における安全対策等として、「不審者等対策マニュアル」「ストーカー対策マニュアル」を各設置校で作成すべく、12月3日に防犯に関する小委員会委員による打ち合わせ会を開催しました。

平成30年度防災訓練等実施状況

実施日	対 象	種 目
4月6日	玉野総合医療専門学校	通報、避難、消火器訓練
4月19日	岡山理科大学専門学校 薫風館	避難、消火器、防災講話
6月7日	岡山理科大学 工学部学生	危険物講演会・消火訓練
7月10日	防災訓練 津島東研修館	避難、消火器、防災講話
7月17日	防災訓練 学南町研修館	避難、消火器、防災講話
10月5日	千葉科学大学 教職員、学生	地震・津波避難訓練
10月19日	本部・岡山理科大学 自衛消防隊員、教職員及び学生	地震・避難総合防災訓練
11月6日	加計三和研修所	通報、避難、消火器訓練
11月12日	千葉科学大学 教職員、学生	総合防災訓練
11月15日	倉敷芸術科学大学 教職員、学生	防災訓練
11月15日	御影インターナショナルこども園	通報、避難、消火器訓練
12月21日	国際学術交流センターこども園	通報、避難、消火器訓練
2月25日	岡山理科大学附属高校 生徒及び教職員	通報、避難、消火器訓練、 起震車体験
3月5・6日	防火管理講習 (本部・理科大学各1名参加)	岡山市消防局主催
3月8日	国際学術交流センターこども園	通報、避難、消火器訓練
3月12日	岡山理科大学今治キャンパス	通報、避難、消火器訓練、 煙体験
毎月実施	国際学術交流センターこども園	避難訓練
毎月実施	御影インターナショナルこども園	避難訓練

平成30年度救命講習等実施状況

実施日	対 象	種 目
5月16日	岡山理科大学附属高校 スポーツサイエンスコース	普通救命講習会
5月21日	倉敷芸術科学大学 留学生	救命講習会
6月1日	岡山理科大学 生物地球学科	救命講習会
7月3日	岡山市消防訓練センターへ教職員等	普通救命講習会
7月12日	御影インターナショナルこども園 教職員	救命講習会
9月10日	岡山理科大学 体育局文化局学生	普通救命講習会
9月11日	岡山理科大学 各科学学生	AED使用講習会
9月14日	千葉科学大学 教職員	救命講習会
10月12日	学園本部・岡山理科大学 教職員	普通救命講習会



## ■環境衛生に関する取組み

### 1. 瀬戸内海環境保全特別措置法及び水質汚濁防止法への対応

特定施設（流し）定期点検の実施・促進を行いました。また、岡山理科大学に関して、特定施設（流し）の変更届出書を監督官庁へ提出しました。

### 2. 水質汚濁防止法及び下水道法への対応

三大学及び今治キャンパスの最終放流口での排水基準値を遵守しています（毎月定期測定実施）。

### 3. 建物における衛生的環境の確保に関する法律（建築衛生法）への対応

岡山理科大学 A1号館及び今治キャンパス医学部棟の定期的な水道水質検査を7月及び平成31年1月にしました。

### 4. 水道法への対応

専用水道及び簡易専用水道の定期的な水道水質検査を行いました。

5. ポリ塩化ビフェニル (PCB) 廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法への対応

岡山理科大学1号館解体に伴い、新たに低濃度 PCB 廃棄物が発見されたため、法律に従い、平成31年3月8日に搬出を行いました。

## ■地域貢献・地域連携

### 1. 包括連携協定

地域社会の発展を目指し、7月30日、共同組合連合会岡山市表町商店街連盟と包括連携協定を締結しました。また、岡山市中央卸売市場「市民イチバデー」のうらじゃ踊りに学生サークルが参加するなど、連携先とのイベントを通じて地域活性化に貢献し、学園のイメージアップに繋がりました。

### 2. 地元企業・近隣町内会等との連携

岡山をホームタウンとするプロスポーツクラブのファジアーノ岡山FC(サッカー)及び岡山シーガルズ(女子バレー)とのスポンサー契約や西大寺会陽への協賛並びに近隣町内会との交流等、地域との積極的な連携を図りました。

## ■広報活動

加計学園と設置校のイメージアップへ9月、東京のネット配信会社(株)ニュース・ツー・ユーを通じて、学園関係のニュースをウェブメディアへ配信する事業を始めました。配信先はツイッターや財經新聞など20媒体を超え、平成30年度中の配信は109本、アクセス件数はニュース・ツー・ユーだけで6,709件となりました。

## ■平成30年7月豪雨に伴うボランティア

7月に発生した集中豪雨で被災された地域(岡山県倉敷市真備町、総社市、愛媛県今治市、宇和島市)にて各設置校の教員・事務職員及び学生・生徒のボランティアが災害復旧活動を行いました。7月中旬から12月末までで延べ約710名が参加しました。

## 国際交流関係

### ■教育交流協定校との交流プログラム

本学園は現在19カ国と地域73校の海外高等教育機関と教育交流協定を締結し、学生、教職員の交換、留学生やインターンシップ生受け入れなど多彩な国際交流プログラムを行っています。

既に四半世紀継続しているアメリカ・ブラジル学生研修団に対しては、岡山での滞在最終日に岡山理科大学スカイテラスにて「KAKE国際祭り」を開催しました。研修団や地域住民の方々、ホストファミリー、学園関係者など500名以上が参加し、在籍留学生による中国、マレーシア、ベトナム、スリランカ、理大ハラルレストランなどの国際屋台を出店しました。

### ■第8回加計学園杯日本語弁論国際大会

第8回加計学園杯日本語弁論国際大会の地区予選を8~10月に9カ国計12会場にて開催しました。これら予選で選抜された12名の出場者による決勝大会を11月16日(金)に岡山理科大学にて開催しました。

約500名の前で、今年度のテーマ「環境問題について—私にできること—(What I Can Do to Protect the Environment)」について熱弁しました。最優秀賞には、ダナン(ベトナム)地区大会優勝者のファム・トゥ・ニャ・ウイエンさんが輝きました。



## ■海外支局長会議

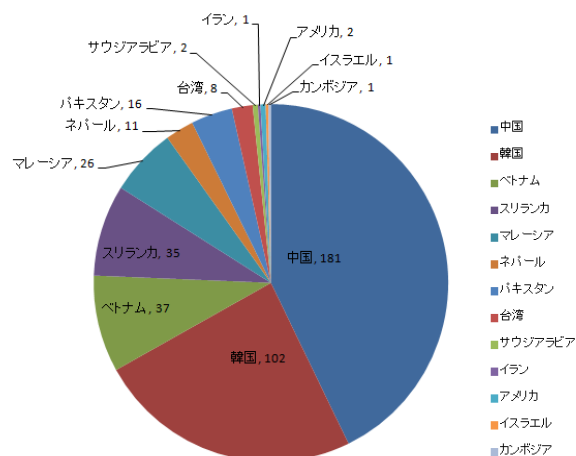
年に数回、海外支局長TV会議を開催し、勉強会・報告会等を通じて、海外支局長同士の連携を深め、情報交換を行っています。11月15日には2018年度秋期海外支局長会議及び海外支局長勉強会を岡山で開催し、各国の海外支局長と本学の入試広報担当者、留学生担当者らが意見交換を行いました。

韓国	受入:湖西大学交換留学生1名	9月1日～1年間
韓国	受入:木洞高校高校生訪日研修団20名	1月9日～1月12日
台湾	派遣:致理科技大学訪台研修団20名(岡山理科大学14名・倉敷芸術科学大学1名・千葉科学大学5名)	3月5日～3月12日

## ■教育交流協定校との交流プログラム

国名	計画	実行
アメリカ	受入:ライト大学仕事体験生4名(岡山理科大学) 受入:フィンドリー大学仕事体験生1名(千葉科学大学)	通年
台湾	受入:致理科技大学科目等履修生4名(岡山理科大学3名・倉敷芸術科学大学1名)	通年
アメリカ	受入:フィンドリー大学学生訪日研修団4名 受入:ライト大学学生訪日研修団10名	6月25日～ 7月5日
ブラジル	受入:パラナ連邦大学学生訪日研修団5名 受入:パラナ・カトリカ大学学生訪日研修団5名	6月25日～ 7月5日
台湾	受入:致理科技大学学生研修団21名	5月23日～ 5月31日
中国	受入:無錫技師学院高校生訪日研修団18名	7月7日～ 7月14日
韓国	受入:慶一学園高校生訪日研修団30名	7月16日～ 7月18日
中国	受入:北京平成日本語学校・深圳職業技術学院訪日研修団17名	7月20日～ 7月27日
韓国	受入:江南スカイ学院(韓国支局)訪日文化研修団30名	7月29日～ 8月4日
アメリカ	派遣:フィンドリー大学訪米学生研修団10名	8月23日～ 9月7日
アメリカ	派遣:ライト大学訪米学生研修団11名	8月23日～ 9月7日

## ■国別留学生内訳 (平成30年5月1日現在)



総数：423名（13カ国）

■ 海外交流協定校（平成31年3月31日）

国名	教育交流協定校	校数
中国	南開大学、北京科技大学、雲南大学、中山大学、河南科技大学、東北師範大学、東北師範大学人文学院、中国管理軟件学院、北京城市学院、北京市実美職業学校、北京市求实職業学校、黒龍江中医薬大学、安徽外国語学院、河南建城学院	14校
	（留学生募集に関する提携校） 北京平成日本語学校、四川外国語学院国際教育学院、深圳職業技術学院、江蘇卓越日本語専修学院、無錫運河実験中学校、無錫技師学院、吉林省前程留学信息諮問(有)（留学江センター）、江西雲帆教育諮問(有)（留学センター）、江蘇碩儒国際教育集团(有)、他	39校
韓国	慶一学園、金剛学園（永同大学、亨硯高校）、鶴山学園（東ソウル大学）、金龍学園（徳園女子高校、徳園芸術高校）、桂林学園（正明高校）、清錫学園（清州大学）、純心教育財団（純心高校）、湖西学園（湖西大学）、江原大学、金泉大学、大田保健大学、韓国防災協会、全南女子商業高等学校、木洞高校、礼ーデザイン高等学校	15校
台湾	大華技術学院、明新科技大学、南台科技大学、稲江科技暨管理学院、稲江高級商業職業学校、金甌女子高級中学、致理科技大学、新北市立新北高級工業職業学校、治平高級中学、財団法人崇右技術学院	10校
アメリカ	ライト大学、ハワイ大学、フィンドリー大学、シェネンドーア大学、グアム大学、ムーアパークカレッジ	6校
イギリス	サンダーランド大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学キャベンディッシュ研究所、ダービー大学	4校
スリランカ	ワヤンバ・ロイヤルカレッジ、マリヤデワ・カレッジ、マリヤデワ・バリーカウィッダチャーラヤ、マヒンダ・カレッジ・ゴール校	4校
ブラジル	パラナ・カトリカ大学、パラナ連邦大学、バンデイランテス高校	3校
オーストリア	ヨハネス・ケプラー大学、リンツ工科造形芸術大学	2校
シンガポール	ニー・アン・ポリテクニク、シンガポール・ポリテクニク	2校
ベルギー	アントワープ王立美術アカデミー	1校
タイ	泰日工業大学、パトゥムワン・デモンストレーション・スクール、ワライラック大学	3校
フィリピン	フィリピン国立大学ロスバニョス校、マプア大学	2校
フランス	リヨンI大学	1校
カナダ	モホーク大学	1校
オーストラリア	アニマルインダストリーズリソースセンター	1校
コンゴ民主共和国	高等技術大学	1校
マレーシア	マラ工科大学医学部	1校
モンゴロ	モンゴル科学アカデミー古生物学研究センター、モンゴル国立教育大学、モンゴル生命科学大学	3校
メキシコ	日本メキシコ学院	1校
イタリア	ボローニャ大学	1校
インドネシア	バンドン工科大学	1校

## 組織

### ■コンプライアンス推進室の設置

4月に、コンプライアンス推進室を新設し、職員を配置するとともに、弁護士法とコンプライアンス推進室運営協力契約を結び、学園に生じるあらゆる法律問題を一元的に管理及び処理する体制を整え、設置校を含む学園全体の契約関係や諸規程について、弁護士の指導を受けながら点検を実施しています。

また、「学校法人加計学園コンプライアンス推進規程」及び「学校法人加計学園行動憲章・行動規範」を制定し、組織人としての行動指針を示すとともに内部統制システムを構築しガバナンスの強化とコンプライアンス推進に努めました。

### ■加計学園理事・監事・評議員概況

(単位：人)

区分	定数	常勤	非常勤	計
理事	9～13	6	4	10
監事	2		2	2
評議員	23～32	26	4	30

(平成30年5月1日現在)

### ■役員について

平成30年 4月 1日：村田誠四郎理事就任

平成30年 5月31日：赤木靖春理事辞任

平成30年 7月 1日：伊原木一衛理事就任

## 学園の概況

### ■学園の沿革（抜粋）

- 昭和30年4月 加計学園の出発点ともなった広島英数学館を、加計勉が創立
- 昭和36年9月 学校法人加計学園設置認可、理事長に加計勉就任、岡山電機工業高等学校設置認可
- 昭和37年4月 岡山電機工業高等学校開校（全日制、電気科・電子工業科） 初代校長に神崎栄一郎就任
- 昭和39年1月 岡山理科大学設置認可
- 昭和39年2月 岡山理科大学設置認可にともない、岡山電機工業高等学校を岡山理科大学附属高等学校に名称変更
- 昭和39年4月 岡山理科大学開学（理学部応用数学科、化学科） 初代学長に加計勉就任
- 昭和42年4月 岡山理科大学附属高等学校第2代校長に内藤一人就任
- 昭和44年12月 真庭郡川上村に岡山理科大学蒜山研究所、蒜山学舎を開設
- 昭和48年10月 学校法人加計学園の所在地が岡山市の住居表示の変更により、岡山市理大町と町名変更
- 昭和49年4月 岡山理科大学大学院理学研究科修士課程（化学専攻、応用物理学専攻）を設置
- 昭和49年4月 岡山理科大学附属高等学校第3代校長に中尾寿夫就任、全寮制特別学級を全寮学級に名称変更
- 昭和50年4月 岡山高等建築専門学院設置認可
- 昭和50年5月 岡山高等建築専門学院開校（建築学科夜間部定時制） 初代院長に中尾寿夫就任
- 昭和51年4月 岡山高等建築専門学院、専修学校法施行により岡山高等建築専門学校に名称変更
- 昭和53年4月 岡山理科大学大学院理学研究科に博士課程（後期）材質理学専攻を設置
- 昭和55年4月 岡山理科大学第2代学長に、奥田毅就任
- 昭和55年4月 岡山理科大学附属高等学校第4代校長に松本卓三就任
- 昭和55年4月 岡山高等建築専門学校昼間部を増設、第2代校長に片山誠二就任
- 昭和55年7月 寄附行為変更により総長制度認可、初代総長に加計勉就任
- 昭和59年4月 岡山理科大学第3代学長に、黒谷寿雄就任
- 昭和61年4月 岡山理科大学工学部設置
- 昭和61年4月 岡山理科大学附属高等学校第5代校長に三宅寛就任
- 昭和61年4月 岡山高等建築専門学校を岡山理科大学専門学校に名称変更
- 平成2年4月 岡山理科大学第4代学長に、加計勉就任



平成2年4月 岡山理科大学大学院の理学研究科（修士課程 機械理学専攻、電子理学専攻、博士課程 システム科学専攻）を改組し、工学研究科（修士課程機械工学専攻、電子工学専攻、応用化学専攻、博士課程 システム科学専攻）を設置

平成4年1月 岡山理科大学附属高等学校第6代校長に加計晃太郎就任

平成4年4月 岡山理科大学附属高等学校第7代校長に渡辺己巳生就任

平成6年12月 倉敷芸術科学大学設置認可 初代学長に谷口澄夫就任

平成7年4月 倉敷芸術科学大学開学（芸術学部、産業科学技術学部、教養学部）

平成9年4月 岡山理科大学総合情報学部を増設

平成9年12月 玉野看護福祉総合専門学校設置認可

平成10年4月 玉野看護福祉総合専門学校を開校（保健看護学科、介護福祉学科） 初代校長に金政泰弘就任

平成10年4月 岡山理科大学附属高等学校第8代校長に三木輝知就任

平成10年4月 岡山理科大学専門学校第3代校長に村上侑就任

平成11年4月 倉敷芸術科学大学第2代学長に土井章就任

平成11年4月 倉敷芸術科学大学大学院開設（芸術研究科、産業科学技術研究科、人間文化研究科）

平成12年4月 倉敷芸術科学大学教養学部を国際教養学部に変更

平成12年4月 岡山理科大学附属高等学校通信制課程普通科を設置

平成13年1月 学校法人加計学園第2代理事長・総長に加計晃太郎就任

平成13年4月 岡山理科大学大学院修士課程に総合情報研究科（情報科学専攻・シミュレーション物理専攻・生物地球システム専攻・社会情報専攻）設置

平成13年4月 倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科に芸術制作表現専攻博士（後期）課程、産業科学技術研究科に計算機科学専攻博士（後期）課程・機能物質化学専攻博士（後期）課程設置

平成13年4月 玉野看護福祉総合専門学校を、玉野総合医療専門学校に変更

平成13年4月 岡山理科大学第5代学長として、山村泰道就任

平成13年9月 岡山理科大学附属中学校設置認可

平成14年4月 倉敷芸術科学大学大学院（通信制）設置

平成14年4月 岡山理科大学附属高等学校第9代校長に北尾正幸就任

平成14年4月 岡山理科大学専門学校第4代校長に逢坂一正就任

平成14年4月 岡山理科大学附属中学校初代校長に善木道雄就任

平成15年4月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部コンピュータ情報学科（通信教育課程）、国際教養学部起業学科（通信教育課程）を設置

平成15年11月 千葉科学大学設置認可

平成16年3月 倉敷芸術科学大学専門学校設置認可

平成16年4月 岡山理科大学第6代学長に宮垣嘉也就任

平成16年4月 倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科、健康科学科を設置

平成16年4月 倉敷芸術科学大学国際教養学部教養学科及び起業学科募集停止

平成16年4月 倉敷芸術科学大学国際教養学部起業学科（通信教育課程）募集停止

平成16年4月 千葉科学大学開学

平成16年4月 千葉科学大学初代学長に平野敏右就任

平成16年4月 倉敷芸術科学大学専門学校開校

平成16年4月 倉敷芸術科学大学専門学校初代校長に岡本繁通就任

平成17年4月 倉敷芸術科学大学第3代学長に添田喬就任

平成17年4月 岡山理科大学附属高等学校第10代校長に橋爪道彦就任

平成17年4月 岡山理科大学附属中学校第2代校長に新倉正和就任

平成17年4月 岡山理科大学専門学校第5代校長に圓堂稔就任

平成17年4月 玉野総合医療専門学校第2代校長に岡田茂就任

平成19年4月 倉敷芸術科学大学専門学校第2代校長に伊藤敏夫就任

平成20年4月 千葉科学大学大学院薬科学研究科、危機管理学研究科設置

平成20年4月 倉敷芸術科学大学専門学校を倉敷 食と器 専門学校に名称変更

平成20年4月 岡山理科大学第7代学長に波田善夫就任

平成21年4月 岡山理科大学専門学校第6代校長に小林正文就任

平成22年3月 倉敷芸術科学大学国際教養学部（教養学科、起業学科、起業学科（通信教育課程））を廃止

平成22年4月 千葉科学大学大学院薬科学研究科博士課程（後期）、危機管理学研究科博士課程（後期）設置

平成22年4月 千葉科学大学第2代学長に赤木靖春就任

平成22年4月 玉野総合医療専門学校第3代校長に高井研一就任

平成22年4月 倉敷 食と器 専門学校第3代校長に川上雅之就任

平成23年4月 倉敷 食と器 専門学校第4代校長に亀井秀人就任

平成23年10月 倉敷芸術科学大学第4代学長に唐木英明就任

平成24年4月 岡山理科大学生物地球学部設置

平成24年4月 岡山理科大学総合情報学部生物地球システム学科募集停止

平成24年4月 千葉科学大学大学院薬科学研究科を薬学研究科に名称変更、薬学科（6年制）を基礎とした薬学専攻博士課程（4年制一貫）を設置

平成24年4月 千葉科学大学危機管理学部に環境危機管理学科及び動物危機管理学科を設置

平成24年4月 岡山理科大学附属高等学校第11代校長に宮垣嘉也就任

平成24年4月 岡山理科大学附属中学校第3代校長に位田隆久就任

平成24年4月 岡山理科大学専門学校第7代校長に村岡正就任

平成24年4月 倉敷芸術科学大学別科に調理師別科、製菓衛生師別科設置

平成25年3月 倉敷 食と器 専門学校閉校

平成26年4月 倉敷芸術科学大学別科 調理師別科、製菓衛生師別科募集停止

平成26年4月 千葉科学大学看護学部設置

平成26年4月 認可外保育所 御影インターナショナルこども園 開園

平成26年4月 倉敷芸術科学大学第5代学長に土井章就任

平成27年4月 倉敷芸術科学大学第6代学長に河野伊一郎就任

平成27年4月 岡山理科大学附属中学校第4代校長に河村定彦就任

平成27年4月 玉野総合医療専門学校第4代校長に平井義一就任

平成28年4月 岡山理科大学第8代学長に柳澤康信就任

平成28年4月 岡山理科大学教育学部初等教育学科、中等教育学科を設置

平成28年4月 千葉科学大学第3代学長に木曾功就任

平成28年4月 岡山理科大学附属高等学校第12代校長に洲脇史朗就任

平成29年3月 倉敷芸術科学大学芸術学部美術工芸学科を廃止

平成29年3月 倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科修士課程工芸専攻を廃止

平成29年3月 千葉科学大学危機管理学部動物・環境システム学科を廃止

平成29年4月 岡山理科大学経営学部経営学科を設置

平成29年4月 岡山理科大学総合情報学部社会情報学科募集停止

平成29年4月 倉敷芸術科学大学危機管理学部危機管理学科を設置

平成29年4月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部経営情報学科募集停止

平成29年4月 倉敷芸術科学大学大学院産業科学技術研究科計算機科学専攻修士課程及び博士（後期）課程募集停止

平成29年4月 千葉科学大学危機管理学部工学技術危機管理学科を航空技術危機管理学科に名称変更

平成29年4月 岡山理科大学専門学校第8代校長に奥田宏健就任

平成29年4月 岡山理科大学附属高等学校電気情報科を廃止

平成29年4月 岡山理科大学総合情報学部生物地球システム学科を廃止

平成29年4月 岡山理科大学大学院総合情報研究科修士課程生物地球システム専攻を廃止

平成30年3月 岡山理科大学理学部理学専攻科を廃止

平成30年3月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部観光学科を廃止

平成30年3月 倉敷芸術科学大学生命科学部健康医療学科を廃止

平成30年3月 倉敷芸術科学大学大学院産業科学技術研究科修士課程計算機科学専攻を廃止

平成30年3月 千葉科学大学薬学部薬科学科を廃止

平成30年4月 岡山理科大学獣医学部獣医学科、獣医保健看護学科を設置

平成30年4月 千葉科学大学大学院看護学研究科修士課程看護学専攻を設置

平成30年4月 岡山理科大学附属中学校第5代校長に洲脇史朗就任

■設置校概況

平成30年5月1日現在

(単位：人)

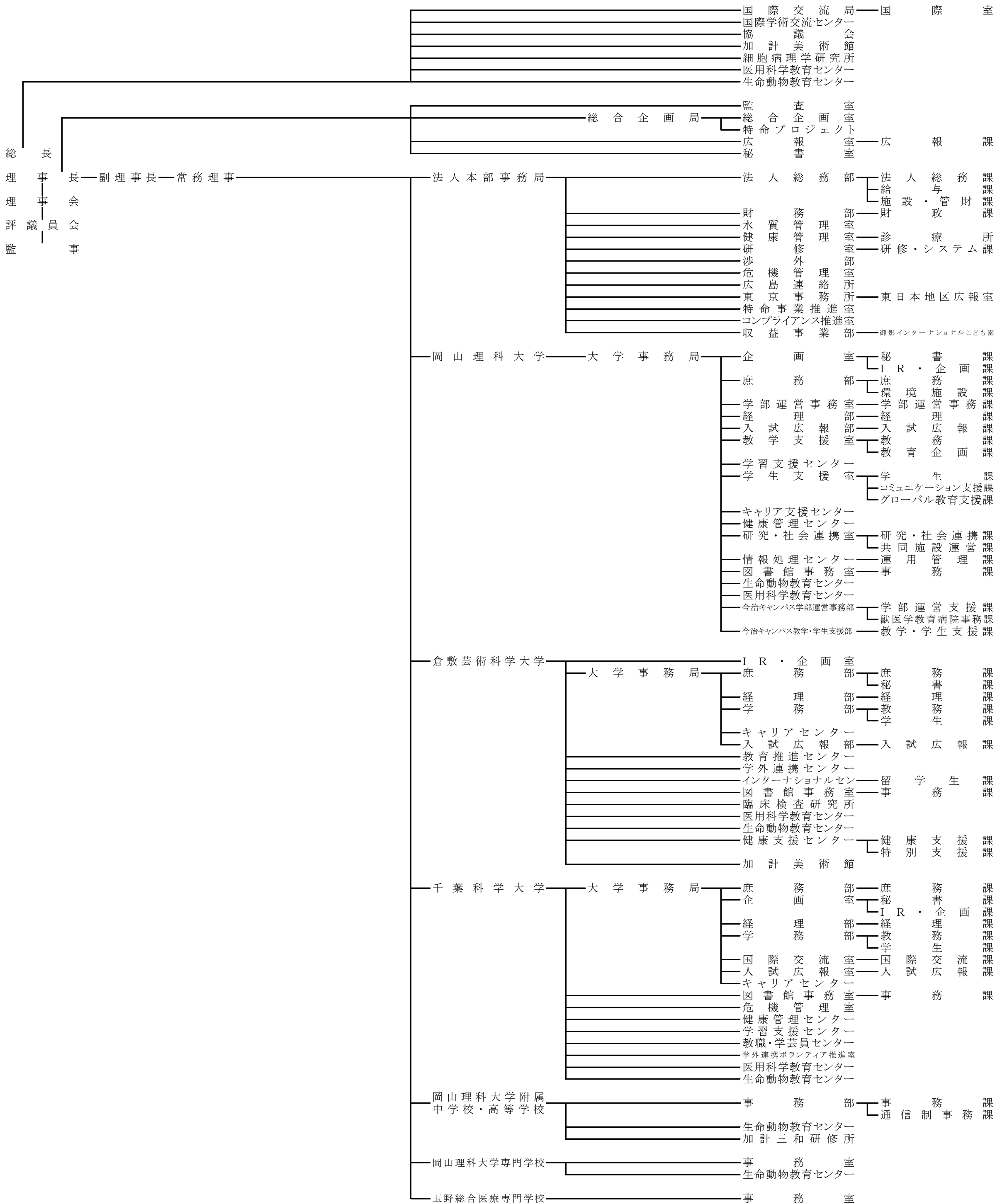
区 分	合計		教員	職員	計
	定員	現員			
岡山理科大学大学 (岡山市北区理大町1-1)	6,564	6,323	363	228	591
大学院	394	225		96 (本部) 132 (理大)	
理学研究科	191	97			
工学研究科	147	79			
総合情報研究科	32	23			
生物地球科学研究科	24	26			
学部	6,170	6,098			
理 学 部	2,210	2,061			
工 学 部	2,070	2,060			
総合情報学部	520	549			
生物地球学部	520	560			
教育学部	390	404			
経営学部	260	278			
獣医学部	200	186			
倉敷芸術科学大学 (倉敷市連島町西之浦2640)	1,974	1,295	90	60	150
大学院	86	21	基準外 2 (外数)		
芸術研究科	32	10			
産業科学技術研究科	24	5			
人間文化研究科	30	6			
学部	1,768	1,271			
芸術学部	424	333			
産業科学技術学部	185	74			
生命科学部	979	764			
危機管理学部	180	100			
大学院 (通信制)	120	3			
芸術研究科 修士課程	20	1			
産業科学技術研究科 修士課程	40	0			
人間文化研究科 修士課程	60	2			
千葉科学大学 (千葉県銚子市潮見町3)	2,466	1,767	134	57	191
大学院	71	19			
薬学研究科	47	4			
危機管理学研究科	19	11			
看護学研究科	5	4			
学部	2,395	1,748			
薬学部	875	667			
危機管理学部	1,200	772			
看護学部	320	309			
岡山理科大学附属高等学校	2,000	1,048	62	14	76
全日制	1,400	879			
通信制(1~3年定員:600名)	600	169			
岡山理科大学附属中学校	240	118	12	1	13
岡山理科大学専門学校	490	337	11	9	20
工業専門課程(建築)	120	115			
商業実務専門課程(映像情報)	0	0			
文化・教養専門課程 (動物看護, トリミング, ドッグ, アクア)	370	222			
玉野総合医療専門学校	560	349	31	7	38
医療専門課程(保健看護、理学療法、作業療法)	480	336			
教育・社会福祉専門課程(介護福祉)	80	13			
合 計	14,294	11,237	703	376	1,079

※別科、専攻科等除く

学校法人 加計学園 法人本部	収容定員	在園者数		こども園 教職員	
収益事業 (御影インターナショナルこども園)	126	106		(12)	

()は本部職員内数

■事務組織図（平成30年5月1日）



## 財務関係

### ■資金収支計算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

収入の部	(単位：円)
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	15,039,882,396
手数料収入	311,577,292
寄付金収入	104,660,544
補助金収入	5,114,458,486
資産売却収入	1,716,000
付随事業・収益事業収入	164,467,229
受取利息・配当金収入	29,259,634
雑収入	649,381,626
借入金等収入	2,420,560,000
前受金収入	2,282,711,950
その他の収入	1,820,313,034
資金収入調整勘定	△ 2,756,978,420
前年度繰越支払資金	17,542,079,965
計	42,724,089,736

支出の部	(単位：円)
科 目	金 額
人件費支出	12,379,382,582
教育研究経費支出	4,347,511,386
管理経費支出	1,497,230,264
借入金等利息支出	86,275,807
借入金等返済支出	998,045,000
施設関係支出	1,481,404,562
設備関係支出	1,745,792,250
資産運用支出	1,015,801,000
その他の支出	6,389,869,482
資金支出調整勘定	△ 1,589,727,871
翌年度繰越支払資金	14,372,505,274
計	42,724,089,736

### ■事業活動収支計算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

収入の部	(単位：円)
科 目	金 額
学生生徒等納付金	15,039,882,396
経常費等補助金	2,020,481,486
その他収入	1,207,701,305
計	18,268,065,187
人件費	12,444,698,015
教育研究経費	6,668,416,887
管理経費	2,176,729,116
その他支出	12,311,604
計	21,302,155,622
教育活動収支差額	△ 3,034,090,435
受取利息等	28,762,485
借入金利息等	86,275,807
教育活動外収支差額	△ 57,513,322
経常収支差額	△ 3,091,603,757
その他の特別収入等	3,166,198,929
資産処分差額等	169,385,273
特別収支差額	2,996,813,656
基本金組入前当年度収支差額	△ 94,790,101
基本金組入額合計	△ 5,752,905,840
当年度収支差額	△ 5,847,695,941
前年度繰越収支差額	△ 17,986,244,528
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	△ 23,833,940,469

■貸借対照表（平成31年3月31日）

資産の部		(単位：円)
科 目	金 額	
固定資産	83,317,325,718	
有形固定資産	77,808,869,183	
特定資産	4,269,771,052	
その他の固定資産	1,238,685,483	
流動資産	16,808,660,981	
資産の部合計	100,125,986,699	

負債の部		(単位：円)
科 目	金 額	
固定負債	19,039,304,765	
流動負債	8,818,372,451	
負債の部合計	27,857,677,216	

純資産の部		(単位：円)
科 目	金 額	
基本金	96,102,249,952	
繰越収支差額	△ 23,833,940,469	
純資産の部合計	72,268,309,483	
科 目	金 額	
負債及び純資産の部合計	100,125,986,699	

■財産目録（平成31年3月31日）

科 目		(単位：円)
金 額		
<b>一資産額</b>		
(一) 基本財産	77,882,091,541	
1. 土地	19,558,356,930	
2. 建物	41,756,931,122	
3. 構築物	2,773,398,805	
4. 教具・校具・備品	6,455,341,691	
5. ソフトウェア	67,839,638	
6. 図書	7,220,188,233	
7. 車両運搬具・船舶舟艇	43,673,922	
8. 施設利用権	5,382,720	
9. 建設仮勘定	978,480	
(二) 運用財産	22,243,895,158	
1. 預金、現金	14,372,505,274	
2. 特定資産	4,269,771,052	
3. 有価証券	1,740,558,944	
4. 出資金	158,859,400	
5. 貯蔵品	1,486,722	
6. 未収入金	608,432,010	
7. 前払金	73,900,940	
8. 借地権	388,140,000	
9. 仮払金	11,777,091	
10. 差入保証金	96,175,770	
11. 長期貸付金	296,000,000	
12. 収益事業元入金	226,287,955	
合 計	100,125,986,699	
<b>二負債額</b>		
1. 固定負債	19,039,304,765	
(1) 長期借入金	14,966,087,000	
(2) 学校債	4,570,000	
(3) 長期未払金	88,457,360	
(4) 退職給与引当金	3,980,190,405	
2. 流動負債	8,818,372,451	
(1) 短期借入金	951,765,000	
(2) 学校債	890,000	
(3) 未払金	4,939,900,448	
(4) 前受金	2,282,711,950	
(5) 預り金	643,105,053	
(6) 仮受金	0	
合 計	27,857,677,216	

## ■財務比率

事業活動収支計算書（26年度までは消費収支計算書）及び貸借対照表に基づく財務比率について、下表で本学の経年比率を示した。

区 分			26年度	区 分			27年度	28年度	29年度	30年度
分類	比 率	算式（×100）		分類	比 率	算式（×100）				
貸借対照表	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資産金}}$	△17.1%	繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債＋純資産}}$	△16.0%	△16.6%	△17.3%	△23.8%	
	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	88.7%	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	85.9%	87.3%	79.7%	82.8%	
	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	94.1%	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	99.3%	98.4%	114.8%	115.3%	
	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金＋固定負債}}$	78.2%	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産＋固定負債}}$	80.2%	81.2%	89.0%	91.2%	
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	528.3%	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	405.9%	388.0%	208.4%	190.6%	
	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	803.7%	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	865.2%	860.1%	819.2%	629.6%	
	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	21.0%	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	24.1%	22.5%	29.6%	27.8%	
	負債率	$\frac{\text{総負債－前受金}}{\text{総資産}}$	18.1%	負債率	$\frac{\text{総負債－前受金}}{\text{総資産}}$	21.3%	20.0%	27.5%	25.5%	
	基本金実質組入率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{基本金要組入額}}$	72.9%	基本金実質組入率	$\frac{\text{純資産}}{\text{基本金要組入額}}$	70.9%	71.9%	63.8%	62.2%	
消費費収支計算書	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	57.8%	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	60.3%	59.9%	62.9%	68.0%	
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	27.8%	教育研究経費構成比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{事業活動支出}}$	28.2%	29.2%	28.3%	30.9%	
	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	10.8%	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	9.0%	9.9%	10.6%	11.9%	
	消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	97.5%	事業活動支出比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}}$	97.7%	84.1%	88.9%	100.4%	
	経常経費依存率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{学生生徒等納付金}}$	123.4%	経常経費依存率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{学生生徒等納付金}}$	119.7%	122.7%	131.7%	143.3%	
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	79.0%	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	81.8%	82.2%	83.2%	82.2%	
	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	2.4%	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.6%	18.5%	0.3%	0.5%	
	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	12.1%	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	9.3%	8.4%	8.8%	9.4%	
	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	0.7%	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	2.5%	20.5%	24.5%	26.8%	



■国庫補助金等

設置校名	①	②	③	その他 国庫補助金	地方公共団体 補助金	合計
	経常費 補助金	大型機器 補助金	G P等 選定事業			
法人本部						0
岡山理科大学	1,078,954	9,762	750	19,820	3,054,707	4,163,993
倉敷芸術科学大学	207,152		7,700		6,380	221,232
千葉科学大学	353,746		5,487	1,742	223	361,198
岡山理科大学附属高等学校				12,347	276,627	288,974
岡山理科大学附属中学校					51,574	51,574
岡山理科大学専門学校					267	267
玉野総合医療専門学校					27,220	27,220
合計	1,639,852	9,762	13,937	33,909	3,416,998	5,114,458

- ①経常費補助金・・・私立大学等経常費補助金（一般補助、特別補助）
- ②大型機器補助金・・・私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費））及び私立大学等研究設備整備費補助金（私立大学等研究設備等整備費）
- ③G P等選定事業・・・大学改革推進等補助金（戦略G P、教育G P等）、科学技術総合推進費補助金等、文部科学省が選定し、支援を行う補助事業

■受託研究・共同研究・科学研究費補助金

設置校等名	受託 研究	共同 研究	科学研究費補助金	
			件数	補助金額
岡山理科大学	33 件	48 件	96 件	152,713 千円
理学部	3	12	28	43,160
工学部	14	22	24	47,840
総合情報学部	0	1	6	7,930
生物地球学部	8	2	6	12,220
教育学部	1	0	6	5,850
経営学部	2	1	9	13,780
獣医学部	3	4	13	17,623
附属施設	2	6	3	3,510
その他	0	0	1	800
倉敷芸術科学大学	8	3	8	31,235
芸術学部	3	0	2	4,600
産業科学技術学部	0	0	1	1,170
生命科学部	2	1	5	19,485
危機管理学部	3	2	0	5,980
千葉科学大学	8	1	14	11,330
薬学部	1	0	6	4,600
危機管理学部	7	1	4	4,550
看護学部	0	0	4	2,180
合計	49	52	118	195,278